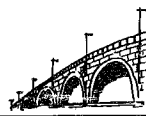


新春  
特集

# にいがた



港のしるし船と中央の五をもって、安政五年通商条約により指定された五港を意味し、これに留環を頂かせて五港の一つ新潟をあらわす

発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 編集 総務部広報課 印刷 第一印刷所  
学校町通1-602-1



未来の風に乗れ  
21世紀はきみたちの時代だ

21世紀まであと5年。今年は平成生まれの子どもたちが小学校に入学します。夢と希望の大きな翼を広げ、未来にはばたく子どもたち。21世紀はきみたちの時代です。きみたちに豊かな自然と、潤いとやすらぎのあるまちをプレゼントしたいと願って…… (写真は市立白山保育園の子どもたち)

## 誇りの持てるまちづくりへ



新潟市長  
長谷川義明

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。新年を迎え、みなさんのご健勝を心からお喜び申し上げます。昨年十一月に多くの市民のみなさんから、温かいご支援をいただき、再び市政をお預かりすることになりました。深く感謝申し上げますとともに、その責務の大きさに思いをいたし、心を引き締めながら新年を迎えているところであります。

一期四年間、私は常に「市民とともにある市政」を信念に、多くのみなさんと対話を重ねながら、市民生活の安定と福祉の向上はもとより、これを支える産業の活性化や都市基盤の整備を図りながら広域的なまちづくりを進め、国際的な中核拠点都市としての発展に必要な諸施策の推進に取り組んでまいりました。このことは現在も、そしてこれからも変わることなく、市政運営の基本となるべきものと考えております。

二十一世紀を目前に、社会経済情勢は大きく変動しています。急速に進む高齢化社会に対しては、健康で明るく、活力ある社会の実現のために生きがいづくりの場を増やし、住民参画型在宅福祉サービス(まごころヘルプ)と公的ヘルプとの連動を図る一方、在宅介護支援センターの拡充を進めるなど、福祉と保健、医療が連携する仕組みを作り上げる必要があります。

また、市民生活の安定の上に都市が豊かさと力を持ちながら発展していくためには、住む人にとって誇りとなるような文化の振興が不可欠です。みなとまち新潟の歴史を生かしたまちづくり、まちなかに文化が薫り、市民の一人ひとりが心の奥ゆかしさと豊かさをもてるような文化振興施策を進めてまいりたいと思っております。

これまで進めてきた下水道の整備やごみの減量をはじめとする生活環境の整備は、安心できる暮らしや地球環境の保全にかかわる重要課題であり、引き続き積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

このようなまちづくりの方針は、新潟市第四次総合計画の中で明らかにし、また新年度予算の編成に反映させていく所存であります。

これまでのご理解とお力添えにあらためてお礼を申し上げますとともに、にぎわいと潤いと活力のある豊かな「新潟市」の創造と、誇りの持てるまちづくりのために、一層のご支援をお願いいたします。

みなさまにとって、今年がよい年となりますようにお祈りいたします。

平成七年元旦